

■しずだい産学連携メールマガジンVol.71

2013年11月19日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、鈴木款先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「サイエンスカフェin 静岡」ご案内
2. 「富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2013」ご案内
3. 「産業技術の芽シーズ発表会in静岡」ご案内
4. 「産学官Matching2013 in 富士」ご案内
5. 「産学官Matching2013 in 静岡」ご案内
6. シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会
7. 静岡大学「第12回アントレプレナー講演会」を開催します
8. 「中部地区医療・バイオ系シーズ発表会」ご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「サイエンスカフェin 静岡」ご案内

サイエンスの最前線をわかりやすくお話します。
コーヒーとお菓子を用意してお待ちしております。お気軽にお越し下さい。

日時 第81話「形の不思議」
11月21日（木）静岡大学理学部物理学科 佐藤信一
第82話「同位体のささやきから知る自然」
12月12日（木）静岡大学理学部地球科学科 和田秀樹
第83話「光でみる一顕微鏡のはなし」
1月30日（木）静岡大学工学部機械工学科・電子工学研究所 川田善正

会場 B-nest静岡市産学交流センター ペガサートビル6階
時間 18:00~19:30（開場17:00）
主催 静岡大学理学部
参加費 無料
申込み 不要
定員 150名（先着順）※満席に達した場合、ご入場いただけません。
詳細 <http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/index.html>
問合せ先 静岡大学理学部物理学科 阪東一毅
TEL 054-238-4745 E-mail [sci-cafe\[at\]ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:sci-cafe[at]ipc.shizuoka.ac.jp)

2. 「富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2013」ご案内

静岡県東部地域の高等教育機関が一堂に集まり、各機関の日頃の研究・開発・ものづくりなどの研究成果の発表や、社会貢献・ボランティア活動などの取り組みを広く紹介します。
どなたでも参加いただけますので、どうぞお越しください。

日時 2013年11月25日（月）13:00~16:00
会場 キラメッセぬまづ（沼津駅徒歩3分）
主催 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2013実行委員会

後援 東海イノベーションネットワーク（東海iNET）ほか
参加費 無料
問合せ 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2013実行委員会事務局
静岡県立大学環境科学研究所 谷 晃
TEL 054-264-5788 E-mail atani[at]u-shizuoka-ken.ac.jp

3. 「産業技術の芽シーズ発表会in静岡」ご案内
ー新成長産業～次世代自動車等～を支えるものづくり技術ー

中部イノベネットでは、広域的連携を活かし中部に所在するさまざまな研究機関の研究開発シーズを一堂に会したシーズ発表会を浜松で開催します。全体テーマは、次世代に向けたものづくりの革新をテーマとしており、自動車関連等のものづくりが盛んな浜松での開催にふさわしいテーマとなっております。企業の皆様方の奮ってのご参加をお待ちしております。

日時 2013年11月25日（月）13：40～16：30
会場 アクトシティ浜松コンgresセンター52・53・54会議室
内容

<シーズ発表>

1. 切りくず処理を効率的に行う切削加工
あいち産業科学技術総合センター産業技術センター
2. たわみやすいFRPパネルの片持ち加工を可能に
石川県工業試験場
3. レーザによる微細・精密穴加工の決定版
福井県工業技術センター
4. 高出力半導体レーザーによる各種材料接合
静岡大学
5. 異材接合にも応用可能で機械的特性に優れた接合技術
産業技術総合研究所 中部センター
6. マグネシウム合金を素材からワンパスで成形加工
名古屋市工業研究所
7. 強くてモノがくっつきにくい」表面処理の新技术！
静岡県工業技術研究所
8. 高強度チタン複合材料を開発
長野県工業技術総合センター
9. 自ら傷を修復する新しい複合材料
富山県立大学
10. あらゆる製造ラインにおける目で見える検査（目視検査）の自動化
中京大学

主催 中部イノベネット
共催 静岡県工業技術研究所、静岡県産業振興財団
後援 静岡大学、静岡理工科大学、ファインセラミックスセンター、
経済産業省中部経済産業局

参加費 無料
定員 100名

申込・問合せ先 中部科学技術センター イノベーション創出支援室
中部イノベネット事務局 齊藤、松岡
TEL 052-231-6723 FAX 052-204-1469
E-mail cis[at]cstc.or.jp

4. 「産学官Matching2013 in 富士」ご案内

日時 2013年11月28日(木) 12:55~16:40

会場 ふじさんめっせ 会議室

主催 静岡TTO、東海iNET、静岡県

内容

○産学官連携講演会

「こんなハズではなかったのに！経営者からの新規事業参入秘話」

(株)日幸製作所 代表取締役社長 小林敏美氏

○シーズ発表

「養液栽培で広がる農業ビジネスの可能性」

静岡大学大学院農学研究科 切岩祥和

「ハプティクスの医療・福祉への応用」

沼津工業高等専門学校電気電子工学科 山之内亘氏

「難生産性組み換え蛋白質の生産方法」

静岡県立大学食品栄養科学部 河原崎泰昌氏

「施設園芸における高機能・低コストな環境センサネットワークの構築」

豊橋技術科学大学先端農業バイオリサーチセンター 李凱氏

参加費 無料

申込〆切 11月26日

詳細 <http://stto.jp/news/detail.php?&id=108>

申込・問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL 053-478-1718 FAX 053-478-1711

E-mail [match2013\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:match2013[at]cjr.shizuoka.ac.jp)

静岡技術移転合同会社

TEL 053-415-9109

5. 「産学官Matching2013 in 静岡」ご案内

日時 2013年12月6日(金) 12:55~16:40

会場 静岡市産学交流センター 6階プレゼンテーションルーム

主催 静岡TTO、東海iNET、静岡県

内容

○産学官連携講演会

「産学連携の現状と今後の展開について」

(株)産学共同システム研究所 代表取締役社長 白井達郎氏

○シーズ発表

「ウンシュウミカン果実における色素成分および機能性成分の集積メカニズム」

静岡大学大学院農学研究科 加藤雅也

「減圧(過熱水蒸気)流動層を用いた食品原料の低温度・高速度乾燥法の開発」

静岡大学大学院工学研究科 立元雄治

「水晶発振子を利用した新規回路による水中等のセンシング」

山梨大学工学部 秋津哲也氏

「地球環境問題解決に向けたキノコ(担子菌)の利用~キノコが地球を救う!~」

静岡大学大学院農学研究科 平井浩文

参加費 無料

申込〆切 12月4日

詳細 <http://stto.jp/news/detail.php?&id=108>

申込・問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL 053-478-1718 FAX 053-478-1711

E-mail [match2013\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:match2013[at]cjr.shizuoka.ac.jp)

静岡技術移転合同会社

TEL 053-415-9109

6. シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会

—高齢社会に向けた健康と食品—

静岡県食品技術研究会第231回例会
静岡大学食品・生物産業創出拠点第34回研究会
【合同開催】マッチングフェア
地域中小企業の人材確保・定着支援事業
ポストドクター・キャリア開発事業

日時 2013年12月11日(水)
研究発表会10:00~17:00
交流会17:00~19:00
会場 ホテルアソシア静岡 3F 駿府Ⅱ、3F 橘、15F ベラビスタ
主催 静岡大学食品・生物産業創出拠点、静岡県食品技術研究会
静岡県工業技術研究所、静岡県食品産業協議会
静岡県中小企業団体中央会、静岡大学博士キャリア開発支援センター
後援 静岡県立大学、東海大学海洋学部、公益財団法人静岡県産業振興財団
静岡大学グリーン科学技術研究所、静岡大学創造科学技術大学院

◆研究発表会&ポスターショートプレゼンテーション(駿府Ⅱ)

及びポスターセッション(橘)

10:00~10:10 主催者 挨拶

- ・静岡県食品技術研究会会長
- ・静岡大学食品・生物産業創出拠点代表幹事
- ・静岡県中小企業団体中央会・静岡大学博士キャリア開発支援センター

10:10~10:50 基調講演

- ・東和薬品株式会社常務取締役生産本部長 播磨武氏

10:50~11:10 研究発表①

- ・静岡県立大学環境科学研究所教授 若林敬二氏

11:10~11:30 静岡県立大学茶学総合講座 紹介

- ・静岡県立大学食品栄養環境科学研究所特任教授 中村順行氏

11:30~11:50 産学官連携事例 紹介

- ・(株)鈴与総合研究所食品・医薬品研究所部長 餅田浩基氏

11:50~12:50 昼休憩

12:50~13:10 静岡大学グリーン科学技術研究所 紹介

- ・静岡大学グリーン科学技術研究所所長 朴龍洙氏

13:10~13:30 研究発表②

- ・静岡大学農学研究科准教授 切岩祥和氏

13:30~13:50 研究発表③

- ・東海大学海洋学部教授 落合芳博氏

13:50~15:10 ポスターショートプレゼンテーション

- ・ショートプレゼンテーション90秒/発表者

15:10~15:50

- ・ポスターセッション

15:50~16:10 研究発表④

- ・静岡県工業技術研究所主任研究員 池ヶ谷篤氏

16:10~16:30 研究発表⑤

- ・公益財団法人静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター 栗田正志氏

16:30~16:50 研究発表⑥

- ・清水技術士事務所 清水康夫氏

16:50~16:55 閉会の挨拶

- ・静岡県工業技術研究所研究調整官

◆交流会17:00~19:00(ベラビスタ)

※ポスター表彰式

参加費 研究発表会 無料

但し、交流会費は、会員(学内・学外共)1名3,000円会員外1名5,000円

申込期日 12月2日(月)

参加申込み・問い合わせ先 静岡大学食品・生物産業創出拠点事務局
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6
TEL : 054-238-4631 FAX:054-238-3018
E-mail: oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

7. 静岡大学「第12回アントレプレナー講演会」を開催します

日時 2013年12月12日(木) 15:00~16:50
会場 静岡大学静岡キャンパス 大学会館ホール
主催 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
講演 「トマトの魅力との対話 ~個の成長と企業の成長~」
カゴメ株式会社 元常務取締役
SNAコーチング協会 エグゼクティブ・コーチ 鵜飼暢雄氏
詳細 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no100.html>
申込・問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1713 FAX 053-478-1719
E-mail antre[at]cjr.shizuoka.ac.jp

8. 「中部地区医療・バイオ系シーズ発表会」ご案内

中部地区の大学・研究機関から最先端のシーズを発信！
全国の企業と交流し、医療バイオ産業の活性化をめざします

日時 2013年12月12日(木) 12:30~19:30
主催 中部地区医療・バイオ系シーズ実行委員会
独立行政法人科学技術振興機構
公益財団法人名古屋産業科学研究所
会場 ウィンクあいち6階・10階(愛知県名古屋市)
口頭発表及びポスター展示
「マイクロ波マンモグラフィの開発」
静岡大学大学院工学研究科 桑原義彦
「IER5/Cdc25Bを標的とする新規な分子標的リン糖抗腫瘍剤」
静岡大学創造科学技術大学院 山下光司
※その他の講演、発表、展示については詳細をご確認ください。

参加費 無料
詳細/申込 <http://www.jstshingi.jp/chubu-med-bio/2013/>
問合せ 中部地区医療・バイオ系シーズ発表会 実行委員会事務局
chubu_seeds[at]sangaku.nagoya-u.ac.jp

《 みんなのコラム -65- 》

記：創造科学技術大学院 特任教授 鈴木 款

「産学連携」と「社会連携」に関連した研究は、学術的な価値を創成することが可能なのか。理学系の教員はいつでもこの質問を抱えています。産学連携は実用的な成果を求めているので、「学術創成」と矛盾するのではないかと一般的には考えられています。私の研究における「産学連携」とは、技術開発のような「産学連携」でなく「環境・CSR」に関係したものです。

私の研究のスタートはつくばの気象研究所からです。14年間海洋と大気物質循環の研究をしました。二酸化炭素と有機物の循環の研究テーマは海洋の生物活動と深く結びついているために化学の原理や反応だけでは理解することはできない現象や機構が多く、専門にこだわると実は本質的な問題に眼が向かない

ということを知りました。このことが、その後の異分野・異業種との共同研究を進める原点となりました。自分の専門性を中心に他分野との相互関係や理解を深めることが大切であるということです。海洋の炭素循環は生物活動による有機物の生産・分解過程と深く関連していますが、有機物の実態を解明する有機炭素の測定法が確立されていないことを知りました。

島津製作所と住化分析センターと海洋の有機炭素をナノモルレベルで測定できる方法の開発を開始しました。開発は3年間苦闘の連続でした。ナノモルレベルの開発は多くの克服すべき課題を抱えました。1995年に、高温触媒酸化法を原理とする新しい測定器を完成し、“Marine Chemistry”という国際誌に論文を発表しました。従来海洋の有機炭素の大部分は生物には消費されない難分解性で、生物活動の系外にあると考えられていましたが、この測定法により、活潑に生物に生産・消費されていることが初めて明らかになりました。1991年ワシントン大学での、国際相互検定会議でこの測定器は海洋の有機炭素測定国際標準法になりました。島津の有機炭素分析計は多くの人に評価され、今では、広く世界の大学や研究機関で使用されています。この研究により科学技術庁長官賞を受賞しました。このことにより企業との共同研究は“世界で一番の測定器を創る”という妥協なき精神と信頼関係が大切であることを学びました。

1993年に静岡大学に移り、サンゴ礁による二酸化炭素の吸収源の可能性の研究を始めました。RITE・NEDOと沖縄電力と共同で、有機物がサンゴ礁におけるCO₂の吸収源評価の鍵であることを明らかにしました。企業との連携においては情報や学術成果を双方で共有することが大事であることを知りました。関西電力との微細藻やマングローブによる二酸化炭素の固定化の研究でも新たな藻類の発見等の学術成果を得ました。2005年から三菱商事と共同で進めている「国際サンゴ礁保全プロジェクト」は、世界で初めてという多くの学術成果を得ました。例えば白化の新たな機構の解明、基礎生産量や栄養塩循環の再評価、ナノテクによるサンゴ内の研究等です。この成果により、2010年に海洋化学学術賞、2011年には海洋立国科学技術内閣総理大臣賞を、2012年には国際サンゴ礁学会から最優秀論文賞を頂きました。このプロジェクトは2016年まで続きます。

企業との連携研究においても新たな学術的価値を生み出すことが可能であることが分かりました。学術的価値の創造は人類の共有財産です。成果の重要性を企業や社会に十分に説明し、価値を共有することにより「産学連携」は共同で社会的価値を生み出す事業になると思います。学術的価値を企業や社会と共有し、信頼関係を築こうとする努力が、大学の研究者が社会的責任を果たすことに繋がることだと思います。

<< 編集後記 >>

静岡大学は、浜松ホトニクス(株)、浜松医科大学、光産業創成大学院大学とともに平成25年度「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)拠点公募において、ビジョン2「豊かな生活環境の構築(繁栄し、尊敬される国へ)」のサテライト拠点の1つに採択されました。

COI STREAMのコンセプトは、『10年後、どのように「人が変わる」のか、「社会が変わる」のか、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型の研究開発プログラム』であり、既存の概念を打破し、これまでにない革新的なイノベーションを創出するイノベーションプラットフォームを我が国に整備することを目的とするものです。

我々の拠点名は『時空を超えて光を自由に操り豊かな持続的社會を実現する光創起イノベーション研究拠点』で、拠点のビジョン実現に貢献するため、時空を超えて光を自由に操り、五感を含む生体センシング・遠隔再現を可能にする技術や装置の研究開発を行います。これにより光のパラダイムシフトを起こし、有意義で質の高い豊かな生活ができる持続的社會の実現を目指します。

今後の展開をどうぞご期待ください。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

